

令和5年12月19日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 令和5年12月19日(火曜日)

午後1時30分から午後3時45分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委員 鷺尾 達雄 委員 大久保 真紀  
委員 荒木 正 委員 廣川 佳予子

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

教育部長	竹内 正浩	子ども未来部長	星野 麻美
教育部副参事(科学博物館長事務取扱)	小熊 博史	教育総務課長	桜井 秀行
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	青木 佐土子
学校教育課長	佐山 靖和	学校教育課部活動地域移行担当課長	遠藤 雄一
学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉	学校教育課主幹兼管理指導主事	玉木 暢
学校教育課主幹兼管理指導主事	小畑 活	中央図書館長補佐	五井 篤也
子ども・子育て課長	深澤 寿幸	子ども家庭センター所長	大久保 千春
保育課長	恩田 立也		

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 江田 綾子 教育総務課庶務係長 今井 香

## 7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 12 月定例会を開会します。

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び荒木委員を指名します。

---

### ◇日程第 2 議案第 51 号 専決処理について (補正予算の要求について)

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 51 号専決処理について (補正予算の要求について) を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(青木学務課長) 議案第 51 号専決処理について (補正予算の要求について) 説明します。本件については、その処理に急を要したため、長岡市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第 4 条第 2 項第 1 号の規定に基づき専決処理を行ったため、これを報告し、承認を求めるものです。令和 5 年 12 月補正予算 (追加分) の内容としては、昨年度同様の、「学校給食費支援補助金」となります。記載のとおり、食材が高騰しても年度途中で保護者負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食が提供できるよう、国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用して支援するものです。具体的には、令和 5 年 10 月から令和 6 年 3 月までの期間の給食を対象に、児童・生徒一人 1 食当たり 10 円を支援するものです。歳出補正額としては、小・中・総合支援学校を合わせて、2,075 万 7 千円となります。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり承認しました。

---

◇日程第3 議案第52号 令和6年度当初予算の要求について

(金澤教育長) 日程第3 議案第52号令和6年度当初予算の要求について を議題とします。この内容について、公表前でありますので非公開が適当ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) では、非公開にいたしますので、関係者以外は退席してください。

—— 会議規則第20条第2項の規定により公表しない ——

◇日程第4 議案第53号 長岡市地域資料館条例施行規則の一部改正について

(金澤教育長) 日程第4 議案第53号 長岡市地域資料館条例施行規則の一部改正についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

(小熊教育部副参事) 議案第53号 長岡市地域資料館条例施行規則の一部改正についてです。改正理由としては、長岡市寺泊民俗資料館は「長岡市トキと自然の学習館」の2階に展示室、3階に収蔵庫がありますが、「長岡市トキと自然の学習館」の開館及び閉館時間を変更されることに伴い、開館及び閉館時間を変更するものです。改正内容は、「長岡市トキと自然の学習館」の時間を変更されることに伴い、長岡市寺泊民俗資料館の開館及び閉館時間を各30分短縮します。午前9時から午後5時までとなっているものを、午前9時30分から午後4時30分までとします。施行期日は、令和6年1月1日です。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

---

(金澤教育長) 続きまして協議報告事項に移ります。初めに、12月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局の説明をお願いします。

(星野子ども未来部長) 令和5年12月議会における教育委員会関係の質問事項に

について説明します。初めに、五十嵐良一議員です。長岡版イノベーションの評価と今後の展開についての質問です。各分野の施策の評価について、医療・福祉及び子育てなど、市の取組の成果や今後の方向性について質問がありました。子育ての分野では、デジタルツールの活用を進めており、子育てアプリや、子育ての駅では利用受付にタブレット端末を導入したこと等、利便性の向上を成果としてお答えしました。

(竹内教育部長) 池田明弘議員からは、物価高騰対策についてのテーマで、学校給食費への支援について質問がありました。公明党会派の地方議員の皆様が、国の電力・ガス・食料品等の価格高騰で、国の重点支援地方交付金のなかで推奨メニューとして学校給食の支援を掲げていることに関連して、長岡市でも支援をして欲しいという趣旨の質問があったもので、これらを踏まえて、市として必要な対策を検討し取り組んでいくとお答えしました。

(星野子ども未来部長) 松野憲一郎議員からは、安全安心に暮らせる長岡についてということで、病児・病後児保育の質問がありました。議員が質問をした背景には、議員のお知り合いが、病児・病後児保育をお願いしたくても、なかなか受け入れ先が見つからない時期があり、拡充して欲しいということ、また、利便性の拡充をして欲しいという話を受けての質問です。ポイントとしては、質問③「施設の拡充を考える必要があるが、市の認識を伺う」ということについて、施設の定員拡大や施設の増設については検討の必要があると認識しており、病児保育・病後児保育は医療機関との連携が必須であるため、医療機関の意向も確認しながら、引き続き検討していくとお答えしました。⑥、⑦保護者の利便性向上として、予約システムの導入についての提案がありました。予約システムは利便性があると思います。ただ、病児・病後児保育は、具合の悪いお子さんをお預かりしますので、様態が急変する可能性が高いため、施設としてはなるべく正確な情報を得た上で、お預かりするかの判断をします。市としても施設の意向を汲みながら、引き続き施設との意見交換を重ねて行きたいと回答をしました。最後に、インフルエンザの予防接種についての質問です。以前も質問がありましたが、今回は受験生に予防接種の助成が必要だと考えるが、市の考えを伺うという質問です。インフルエンザワクチンの予防効果は、重症化予防と、発病抑止に一定の効果があると認識しています。ワクチン接種

の助成については、国や、他の自治体の動向を見極めながら検討することをお答えしました。併せて感染予防には、手洗いやマスクの着用が必要になるため、周知したいと考えていることをお答えしました。

(金澤教育長) 一般質問で御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 世間的に新型コロナウイルスやインフルエンザ、アデノウイルスなどが流行っていると聞きますが、現在の学校の状況について教えてください。

(青木学務課長) 新型コロナウイルスについては、多少の発生はありますが、学級閉鎖等に至る状況はありません。インフルエンザについては、週明けの月曜・火曜日は出席停止者が増えて学級閉鎖になる状況が多く、週末に落ち着き、また週明けに他の学校で感染が増えるといった状況です。新型コロナ禍においては、インフルエンザの患者はほぼいない状況でしたが、今年度は夏場でもインフルエンザの陽性者が一定数いました。コロナ禍前の冬の季節性のインフルエンザではなく、一年を通して季節に関係なく発生する状況になっており、免疫力の低下があるのではと考えています。

(金澤教育長) 通年で感染者がいるという部分が特異であるのと、今年のインフルエンザ流行は、新型コロナ禍前のインフルエンザが流行っていた頃と同様の感覚があり、現在の肌感覚としては陽性者は多いと思います。

(金澤教育長) 池田明弘議員からの一般質問で、給食費の補助については、先程、専決で御承認いただきましたが、議会の最終日提案をしています。

---

(金澤教育長) それでは、文教福祉委員会について、事務局の説明をお願いします。

(竹内教育部長) 令和5年12月議会教育委員会関係質問事項・文教福祉委員会です。まず、波多恵理委員から、不登校児童生徒の支援についての質問がありました。波多委員からは長岡市の不登校児童生徒への支援について一定の評価をしていただいています。改めて文教福祉委員会の場で現状を聞き、議論することで、長岡市の取組を広めるという意図を兼ねての質問でしたので、現状を説明し、各文教福祉委員、議員各位にも周知していただくことが出来ました。最後に、長岡市の取組を評価しているので、引き続き拡充と努力をお願いしたいとのコメントをいただきました。

(星野子ども未来部長) 続いて、母子手帳・母子モについてです。国が母子手帳のデジタル化するという話も出ており、母子モの内容や利点などについて質問をいただき、内容についてお答えしました。

(星野子ども未来部長) 高橋美里委員からの5歳児の発達相談会についての質問です。5歳児の発達相談会は、今年度の新規の事業になります。委員は、発達全般に関心があり、色々な角度から発達について勉強されています。新規事業である5歳児の発達相談会について、実状や経緯や目的などについてお答えしました。

(星野子ども未来部長) 桑原望委員からは、児童クラブ・児童館についての質問がありました。現在、運営について見直しをしておりますが、入会認定の考え方については、基本的に小学生が対象ですが、定員の関係で希望者全員を受け入れ出来ない可能性があり、原則小学校3年生までの受け入れとして、4年生以上は自宅で留守番をしていただくなどの促しをしています。受け入れ対象の線引きについて質問があり、4年生は全く受け付けないのではなく、事情によっては受け入れしていますので、児童クラブに直接相談して欲しいとお答えしました。②長期休暇中の食事の提供については、以前、一般質問でもありましたが、弁当の持参が保護者にとって非常に負担であるということから、再度のご質問でした。現状は、色々な課題があるため弁当の持参をお願いしていますが、国からも放課後児童クラブにおける食事提供について検討を促す通知が出ているため、今後、可能性を探っていきたいとお答えしました。③中高生の居場所についてです。国でも中高生の居場所について議論されており、市でも児童クラブ・児童館の見直しの中で、中高生に対応できる居場所になるように検討している旨をお答えしました。また、長岡市には、ミライエ長岡やアオーレ長岡などの中高生が集っている場所がありますが、そういった長岡駅周辺の施設との連携や、役割分担についても検討していくことをお答えしました。

(竹内教育部長) 酒井正春委員は、長岡市の「小学生ロボコン教室」をスタート時に関わっておられることから、ロボコン教室事業の経緯や、現在までの参加状況、成果や今後の思い、考え等をお話しされました。子どもたちの参加状況は単なる数字ではなく、教室に参加した子どもたちが長岡工業高校、長岡技術科学大学に進級・進学し、世界大会や高専大会に出場して優勝したり、更には、ドローンの技術



を使った草刈り機などで起業されているということです。ロボコン教室を通して人の循環ができていることを委員も評価してくださっており、引き続き、長岡市から支援や応援をしていただきたいとのことでした。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 中高生の居場所について、国ではどのような問題意識があり、何について議論しているのですか。

(竹内教育部長) 不登校などの問題もあると考えますが、子どもたちの居場所をたくさん作ることで、学校に行かなくても過ごせる場所があると良いのではと考えていると推察します。これまでは、図書館等しかなかったが、コミュニティセンターや、児童館は法律上では18歳まで使用できるため、長岡市の施設が適合するかは分かりませんが、国の議論の内容としてはそういったことが推察されます。

(金澤教育長) プラスで考えると、音楽を頑張りたい子ども達に、防音施設がある場所が準備されているなど、教育委員会で考える「熱中！感動！夢づくり教育事業」のコンセプトの子どもの可能性を伸ばせるような場所を作ることも、居場所作りの一つだと考えます。また、引きこもりや、不登校児童生徒が安心できる場所も、居場所としてあると考えます。

(荒木委員) 今年の「ロボコン教室」はどうでしたか。

(小畑学校教育課主幹兼管理指導主事) 毎年「小学生ロボコン教室」は、三島体育館を会場に実施していましたが、今年は、長岡高専の体育館で実施しました。長岡高専は全国ロボコン大会で受賞しており、そのロボコンを実際に見ることもできました。会場は、三島体育館と比べると手狭ではありましたが例年通りの参加者で、観客とも近く熱気が伝わり、熱い戦いが繰り広げられ大変盛り上がりました。

(荒木委員) ロボコンの聖地である長岡高専での開催であり、子どもたちの憧れの聖地での開催を企画され、子どもたちの気持ちも大いに盛り上がった大会だったと思います。

(荒木委員) 毎年参加されている大久保委員の感想をお聞きしたいです。

(大久保委員) 教育委員になる前から、クラブ活動のお手伝いをしています。本当に興味がある子どもたちは、何も教えなくても見通しを立てて自ら進んで作業していく姿を見ていました。良い面もありますが、やりたい気持ちが強く説明書を読ま

ないなど、今の子どもたちの姿も垣間見れました。興味があることに対する想像する力は凄いと感じました。小学生のロボコンは、身近にある物を使って物凄い装置を造ったりします。長岡市の良い所は、中学生でも出来るし、長岡工業高校、長岡高専、長岡技術科学大学も在り、先が見えて続けて行ける環境がある所だと思っています。

(金澤教育長) 他に御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 次に、長岡市特別支援教育・保育事業費補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明をお願いします。

(恩田保育課長) 改正理由は、補助金の補助基準額について、設定根拠である「新潟県特別保育事業補助金交付要綱」に定める「障害児等保育事業」の基準額が改正されたことに伴い、基準額を改正するものです。改正内容は、保育士の有資格者と無資格者の金額がそれぞれ増額となり単価が改正されました。施行日は、公表の日からとし、令和5年度分の補助金から適用されます。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) 次に、令和5年度 第2回長岡市子ども・子育て会議報告について 事務局の説明をお願いします。

(深澤子ども・子育て課長) 令和5年度第2回長岡市子ども・子育て会議を11月27日に開催しました。委員15名と、アドバイザーの新潟県立大学の小池教授に出席いただきました。会議内容の議事(1) 子どもナビゲーターからの報告については、今年度の貧困問題に関する調査集計の10月末現在の中間報告をしました。(2) 長岡市子どもの貧困対策連絡会議の報告については、10月に開催した会議の概要を子どもナビゲーターが説明しました。(3) 令和3・4年度の子育て支援施策の実施状況については、現行の「子育て・育ちあいプラン」の各施策の実施状況を説明しました。(4) から(6)については、来年度策定予定の第2期「子育て・育ちあいプラン」に続く新たな「こども計画」について、国の動向などを踏まえた策

定方針と、それに係る基礎調査について説明し、各委員から意見を伺いました。各委員からは、積極的に御意見などをいただきました。会議の最後に、小池アドバイザーから、各委員の意見を踏まえて総評をいただきました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) アドバイザーの方は資格や専門性・研修など、どのような経歴の方ですか。

(深澤子ども・子育て課長) 新潟県立大学子ども学科の教授で、児童家庭福祉を専攻されています。

(金澤教育長) 他に御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

---

(金澤教育長) その他、報告事項などはありますか。

(佐山学校教育課長) 12月12日付けで文科省から通知があり、この度、長岡市教育委員会が「第16回キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰」を受賞したことを改めて皆さまに御報告いたします。この賞は、児童一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成するため、職場見学や職場体験等を積極的に取り入れるなど、他校種や地域・産業界等との連携・協力を主体的に図り、組織的・系統的にキャリア教育に取り組んでいる学校や教育委員会が対象となります。長岡市教育委員会が市内企業、高等教育機関、関係諸団体と連携して独自に構築した「こめぷら」を通じて、子どもたちに職業に関する動画を閲覧してもらうことで職業観を育んだり、市内企業が行う職場体験や職業講話、各種イベントについての情報を教職員あるいは各家庭で検索、申込みができるといったキャリア教育を推進するための環境を、学校・地域・地元産業界と教育委員会が連携しながら整備したことを評価いただいたものと捉えております。今後も、児童、生徒、保護者、地域や企業の要望に応えながらキャリア教育のブラッシュアップをすると共に、「こめぷら」の認知度の向上、魅力向上に努めて参ります。

(星野子ども未来部長) 日経新聞と日経BPが毎年調査をしている自治体の子育て支援制度に関する調査において、長岡市の保育の質が全国1位をいただきました。子育て支援策は全国18位、北信越1位と、非常に高い評価をいただきました。今

回の評価については、アンケートの設問項目において、現在、実施している保育研修がマッチしたのだと思います。保育課の指導保育士が市内の園を回り、園の支援をしている取組も評価された一因だと考えます。今後も引き続き、保育の質を保っていきたいと思います。

(金澤教育長) 他に、御報告などはありますか。

(竹内教育部長) 長岡市では、市政だよりの1月号で、市長とその年を代表される方との対談が毎年掲載されます。年末年始の関係で、12月25日に発行されますが、今年は、有識者4名のなかに廣川委員から入っていただき、対談をしていただきました。是非、御覧いただきたいと思います。

---

(金澤教育長) それでは、催し案内等について説明願います。

(佐山学校教育課長) 今年最後の科学探求塾のお知らせです。ミライエ長岡を会場に、小学校5・6年生を対象に開催します。ミライエ長岡では初開催ですが、ミライエ長岡の担当課と協議して、来年度以降、拡充したいと考えております。

---

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員